

# 新役員体制で新たな発展を！ご期待下さい

NPO 法人 神戸西助け合いネットワークは、阪神淡路大震災後の平成7年7月21日に設立され、平成15年1月15日にNPO法人を設立しました。あれから16年の歳月が経ち、またNPO法人後は今期で9期を迎える事ができました。今期は役員改選の年で新役員も加わり、新たな体制で向かいます。ここに役員を紹介いたします。

## ◎ 理事長



在里 俊一  
阪神淡路大震災の教訓である「人と人の絆の大切と助け合い支え合う地域社会」を目指して、さらに一層の努力をしております。今後ともご協力をよろしくお願い致します。

## ◎ 副理事長



江川 豊  
神戸西助け合いにお世話になって8年になります。主に高齢者のお昼の弁当配食と、配食先の健康状態も把握しております。今後も頑張っていきます。

## ◎ 理事（事務局長）



岡部 忠夫  
明石高専のOBグループが製作した太陽熱ボイラーが新聞やテレビで全国に紹介され反響の大きさに驚いている。私も若い人に交じり普及に取り組むこの頃。

## ◎ 理事（副事務局長）



吉岡良成  
社会人として35余年となり、その間事業を行った経験や、パソコン歴も30年となりますので、それらの経験をいかして、頑張っていきます。

## ◎ 理事



本岡 美智子  
平成7年9月より活動をスタートし、現在、神戸市より「リサイクル工房 あづま」の管理委託運営をしています。ボランティアの財産は「信頼と実績」をモットに頑張ります。



迫田 志津子  
阪神淡路大震災より16年間ボランティアに関して来られた事を感謝しています。よりボランティアが必要とされる時代、自分らしく頑張っていきたいです。



畑瀬 忠雄  
NPO活動は初めての事なのですが、縁あってお世話になることになりました。早く慣れて少しでもお役に立てる様に頑張りますので、ご指導もお願いします。



木下 泰男  
このNPOは定年退職された方で構成されており、まさに人生の縮図です。この仲間たちと共に現代社会で、助け合いとはなにかを、絶えず模索していきたい。



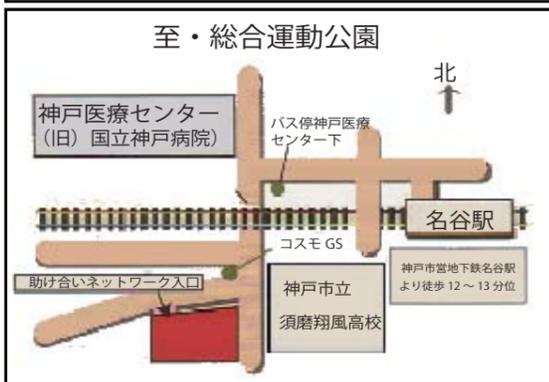
森本 秀雄  
東日本大震災は、今も復旧・復興に向け多くのボランティア団体が支援、協力をされています。私達も地域に愛される市民活動に向けて頑張りたいと思っております。

## ◎ 監事



武貞 健治  
長年に渡りボーイスカウト活動に携わっており、今後も終生の奉仕としております。日曜大工・庭木の剪定も毎日の日課であり、パソコン歴は長いのですが再学習しているところです。

特定非営利法人 (NPO 法人)  
神戸西助け合いネットワーク  
理事長 在里 俊一  
〒654-0155 神戸市須磨区西落合2丁目1-6  
TEL078-795-3786 FAX078-795-4498  
〒654-0076 神戸市中央区吾妻通4丁目1-6  
コムスタ神戸2F リサイクル工房あづま内



# NPO 法人 神戸西助け合いネットワーク 私たちの活動ニュース

平成23年度活動報告  
第9号  
平成23年10月1日  
発行人：在里俊一  
特定非営利法人  
神戸西助け合いネットワーク

## 「広げよう支援の輪」 東日本大震災 避難家族へ支援活動 ～家電品・家具・自転車・日用品を提供～



自転車贈呈式（平成23年8月28日）



被災者支援物資の展示コーナー

平成23年3月11日に東日本に大震災が発生し、被災地から避難して阪神間に仮住まいを始めた方々へ、3月19日から生活物資の支援を始めました。行政が用意した市営住宅などの空き部屋には必要な家財が揃っているわけではなく、ほとんどの避難者の皆さんは、まさに着の身着のままこちらへ来られています。そんな方々へ、私たちがリサイクル用にストックしていた品物を贈ったのが始まりでした。

4月中旬には支援数20世帯を超え、その様子が4月19日付の神戸新聞で紹介されると、品物の提供の申し出が相次ぎ、しばらくは事務所の電話が鳴りっぱなしでした。同じ頃、家電量販店からも新品の冷蔵庫・洗濯機・炊飯器・照明器具が提供され、活動はピークに達しました。また、P&Gからも洗剤類の提供がありました。



その後、5月28日付の朝日新聞夕刊にも活動が紹介され、6月上旬には支援世帯数は50世帯以上を数え、皆さんから感謝の声がたくさん寄せられました。

主な支援品は、冷蔵庫、洗濯機、電子レンジや炊飯器などの家電品からタンス、テーブル、本棚などの家具、毛布や衣類に至るまで多岐にわたりました。

震災後6ヵ月を経た現在、支援件数はやや落ち着いており、峠を越したとも言えます。しかし関西への避難者は福島県の方が多く、今後の福島第一原発事故の状況によっては、さらにその数が増えることも考えられます。私たちとしてはそうならないことを願うばかりですが、備えだけは万全にやっておかなければなりません。

さらに「モノ」だけでなく心の支援も行う必要があると思います。避難者の皆さん同士の、そして避難者が住む地域の皆さんとの「懇親会」等の交流の場づくりにも取り組むことを考えています。

これら一連の活動を通じて判った事ですが、新聞記事に掲載されたおかげで支援物資の確保は順調に進みましたが、一般の方々からの提供申し出に対して、車両とスタッフのやりくりがつかず、品物を引き取りに伺う事だけでも困難を伴いました。一方、「なにか自分でも応援できれば」とご自分で運んでくださったり、宅急便で送ってくださった方もたくさんいらっしゃいました。被災者の方に何かをしたいという思いが伝わってきます。私たちの神戸市須



サンテレビで放映された場面

磨区西落合の活動拠点では、品物を展示することができ、被災者の方々が実際にご自身の目で見て選ぶことができたのは大きな利点であったと思います。

もう一つ、新聞報道のおかげで物資提供者は多く申し出てくださったにも関わらず、当初、被災者の方々には情報が十分に伝わらなかったことです。しかし、被災者の方より色々な情報を神戸市の方から受けることがわかり、神戸市の担当部署に連絡を取り、私たちのチラシを被災者向けの情報の中に入れて頂くことができたのが6月初旬で、280世帯の方々の配布されたようで、配布直後はたくさんの方々に来て頂きました。もっと早く被災者の方々に連絡ができればよかったのにと残念でなりません。

その後、テレビでも取り上げて頂きました。サンテレビで毎日5時30分の「NEWS SIGNAL」で6月28日(火)に放送されました。まる一日をかけて、現在の活動等や被災者の取材、被災者宅に訪問しての取材等がありました。番組は7分間の特集コーナーで放送されました。私たちのミーティング、代表者へのインタビュー、被災者へのインタビューと盛りだくさんで非常に分かりやすく紹介されました。

6月末の段階において支援世帯数は70世帯になり、配達した冷蔵庫は23台、洗濯機は21台になりました。

7月に入り当方が窓口となり、兵庫県内の各種団体のご協力により被災者の方々に自転車(新品:シティサイクル)をお贈りすることになり、被災者の方々に連絡をしたところ157台の申し込みがありました。8月28日に神戸市垂水区のベルデ名谷の団地集会所にて「自転車贈呈式」を執り行いました。(巻頭写真)この式典において自転車受領者より「行動範囲が非常に広がります」というあいさつがあり喜ばれました。

このような大変忙しい中において頼もしい助っ人が来ました。5月の一ヶ月間だけですが、ハローワークや職業訓練組織の要請に応じて離職者の職業訓練の一

環として現場作業体験として3名の方(塩田正則、谷垣友一朗、内橋綾子)が来られました。私たちの通常の業務の他に震災関連の業務にもたずさわり、被災者宅への家具の運搬や電話連絡、アンケートなどを行って頂きました。通常ではできない、素晴らしい体験ができたのではないのでしょうか。これからよい就職先が決まるのを願っております。

震災から6ヶ月が経った今、被災者の方と接する機会が多いので、被災者の方々は色々な思いを持っていることが分かります。元のところに戻りたいのに原発の関係で戻れない。子供が小さいので神戸の地に住もうと思っている方。就職をどうすればよいか悩んでいる方。皆さんのお話を聞くと胸を締め付けられる思いになります。一部には元の所に帰った方もいらっしゃいますが、原発事故長期化の関係で最近になって避難された方もいらっしゃいます。この先非常に不透明で、これからも継続的な支援を続けなければなりません。

## 私たちの活動にご支援・ご協力を

東日本大震災と福島第一原発事故から6ヶ月、マスメディアの扱いがやや減ったような気がしませんか。しかし今回の被害は、16年前に比べてその規模が桁違いに大きく、復興はまだまだ先が見えません。

私たちの活動は「世間の関心」が薄れたとき(マスメディアの扱いが減ったとき)からこそが、本当の活動であると考えています。事実、16年前の神戸西助け合いネットワークは仮設住宅に暮らす被災者たちへの物心両面の支援から始まりました。

スタートの精神を忘れず、原点に立ち返って私たちのミッション(使命)を果たさなければならないと考えています。

これから先、息の長い支援活動を続けていくためにも私たちへのご支援・ご協力をぜひお願いします。

振込先: ゆうちょ銀行 00960-7-108420

名義: 神戸西助け合いネットワーク

### 【年会費】

個人会員 一口 5,000円

団体会員 一口 50,000円

(賛助会員は一口 10,000円~)

※その他、地域の活動サポート、リサイクル事業などの収益事業を行っています。

詳しくは私たちのウェブサイトをご覧ください。

<http://www.kobe-tasukeai.com/>

## あらためて脚光を浴びる太陽光発電

5年目の評価 ~個人・団体を問わず普及促進を~

### 始まりと成果

2006(平成18)年秋にスタートした私たちの太陽光発電の試みは今年でちょうど5年目を迎えます。

設置のきっかけはCO<sub>2</sub>を全く出さない、再生可能なエネルギーの頂点にある、すなわち直接エネルギーに変換できる太陽光発電に着目したのが始まりでした。

太陽光発電の総電力量は、今年3月現在、4万9千キロワットになりました。電気事業連合会の資料によると一世帯あたりの平均年間消費量が284キロワット(平成21年)ですから、平均すると毎年38世帯が一年間使う電力の発電を行ったこととなります。もちろん余った電気は電力会社が買い取り、4年半で30万6千円でした。

なお買取単価は、平成23年度は非住宅用は1キロワットあたり24円ですが、住宅用は1キロワット当たり42円になっております。

### 迫られる転換

一方で福島第一原発事故に伴う、他の点検中の原発の再稼働の不透明さにより予想される電力供給不足、脱原発と代替エネルギーへの転換の機運など、これからの太陽光発電はまさに「脚光」を浴びることが考えられます。また、私たちが現在設置している発電ユニットの変換効率はせいぜい15パーセントまでですが、最近の製品では、一部には20パーセント近いものもあり、今後の技術開発でますますその効率が上がっていくことでしょう。



太陽光発電システムの太陽光パネル

### 補助金制度

太陽光発電の導入価格は一般家庭で3kwの発電システムで約200万円位となります。詳細は各家によって異なりますので、当神戸西助け合いネットワークにご相談下さい。メーカーをご紹介させていただきます。今太陽光発電の導入費用に補助金を受ける事ができます。国・兵庫県・神戸市の補助金です。

\*一般住宅 3kwの発電システムの場合

国の補助金	14.4万円
兵庫県の補助金	6万円
神戸市の補助金	6万円
補助金総額	26.4万円

なお、兵庫県の申請期限が平成23年12月19日となっておりますのでご注意ください。

また、太陽光発電設備から発生する余剰電力には買取制度があり、23年度に申し込みであれば1kw/hあたり42円で10年間にわたって、買い取ってもらえることができます。

今、各電力会社とも節電を呼びかけておりますので、太陽光発電で協力することができるうえ、停電になった時でも太陽光発電でまかなう事が出来ます。ぜひこの機会にご検討下さい。

当神戸西助け合いネットワークには10kw/hの太陽光発電システムを設置しておりますので、参考にしてください。いつでもご覧になれます。



パソコンにて日々の発電電力量の管理